資料１

令和７年度業務実績に関する項目別評価

令和８年 10 月 27 日

地方独立行政法人加古川市民病院機構評価委員会

第１項　評価結果一覧

中期計画・年度計画に定める項目			評価		配分％(c)	点	
大項目	中項目	小項目	法人(a)	評価委員会(b)		法人(a×c)	評価委員会(b×c)
１住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項	１公立病院としての役割の発揮と責務の遂行	（１） 救急医療への対応	4	4	5	20	20
		（２） 災害時における機能の強化	4	4	5	20	20
		（３） 感染症対策の強化	4	4	5	20	20
		（４） 地域の中核医療機関としての役割の発揮	5	5	5	25	25
					20	85 (4.25)	85 (4.25)
	２高度・専門医療の提供	（１） がん医療の充実	4	4	5	20	20
		（２） 循環器疾患にかかる医療の充実	4	4	5	20	20
		（３） 消化器疾患にかかる医療の充実	4	4	5	20	20
		（４） 周産期医療の充実	4	4	5	20	20
		（５） 小児医療の充実	4	4	5	20	20
		（６） センター診療機能の更なる充実	4	4	5	20	20
		（７） 総合診療体制とチーム医療の充実	5	5	5	25	25
		（８） 高度・専門医療を提供する人材の確保と育成	5	5	5	25	25
					40	170 (4.25)	170 (4.25)
	３安全で信頼される医療の提供	（１） 医療安全管理及び感染対策の徹底	4	4	5	20	20
		（２） 患者とともに進める医療の推進とサービスの充実	4	4	5	20	20
					10	40 (4.00)	40 (4.00)
	大項目１の合計（１４項目）				**70**	**295 (4.21) A**	**295 (4.21) A**

中期計画・年度計画に定める項目			評価		配分％(c)	点	
大項目	中項目	小項目	法人(a)	評価委員会(b)		法人(a×c)	評価委員会(b×c)
2業務運営の改善及び効率化に関する事項	1自律性・機動性・透明性の高い組織運営	（1） 効率的・効果的な組織運営	4	4	4	16	16
		（2） コンプライアンスの徹底	4	4	4	16	16
					8	32 (4.00)	32 (4.00)
	2働きやすく、やりがいのある職場づくり	（1） やりがいづくり、モチベーションアップへの取組の充実	4	4	5	20	20
		（2） 働き方改革の推進	4	4	5	20	20
					10	40 (4.00)	40 (4.00)
	大項目２の合計（４項目）				**18**	**72 (4.00) A**	**72 (4.00) A**
3財務内容の改善に関する事項	1経営基盤の強化		5	5	5	25	25
	2収入の確保及び費用の最適化		4	4	5	20	20
	大項目３の合計（２項目）				**10**	**45 (4.50) S**	**45 (4.50) S**
4その他業務運営に関する重要事項	1地域社会への貢献	（1） 地域社会との協働の推進	4	4	2	8	8
					2	8 (4.00)	8 (4.00)
	大項目４の合計（１項目）				**2**	**8 (4.00) A**	**8 (4.00) A**

〈加点項目〉

中期計画・年度計画に定める項目			評価		加点比率％(c)	加点	
大項目	中項目	小項目	法人(a)	評価委員会(b)		法人(a×c)	評価委員会(b×c)
4その他業務運営に関する重要事項	1地域社会への貢献	（2） 市施策への協力	4	4	3	**12**	**12**

第２項　項目別評価

（１）大項目評価結果一覧

大項目１　　住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

小項目評価点	配分比率	大項目評価点	評価結果				
295 点	70	4.21 点	S	A	B	C	D

大項目２　　業務運営の改善及び効率化に関する事項

小項目評価点	配分比率	大項目評価点	評価結果				
72 点	18	4.00 点	S	A	B	C	D

大項目３　　財務内容の改善に関する事項

小項目評価点	配分比率	大項目評価点	評価結果				
45 点	10	4.50 点	S	A	B	C	D

大項目４　　その他業務運営に関する重要事項

小項目評価点	配分比率	大項目評価点	評価結果				
8 点	2	4.00 点	S	A	B	C	D

大項目４　　その他業務運営に関する重要事項〈加点項目〉

小項目評価点	加点比率	加点
4 点	3	12 点

【地方独立行政法人加古川市民病院機構　年度評価実施要領（抜粋）】

別表４　大項目評価における評価の基準

評価（評点）	コメント	評価の基準
S	中期目標・中期計画の達成に向けて、計画を大幅に上回り、特に評価すべき進捗状況にある。	４．５ ≦ X
A	中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。	３．５ ≦ X ＜ ４．５
B	中期目標・中期計画の達成に向けて概ね順調に進んでいる。	２．５ ≦ X ＜ ３．５
C	中期目標・中期計画の達成のためにはやや遅れている。	１．５ ≦ X ＜ ２．５
D	中期目標・中期計画の達成のためには大幅に遅れている、または重大な改善すべき事項がある。	X ＜ １．５

備考

１　Xは、当該大項目内の各小項目評価の評点に別表２の配分比率を加味して導いた評価点。

２　評価に当たっては、当該大項目内の各小項目評価の評点から大項目全体を機械的に判断するだけでなく、必要に応じ、重要な意義を有する事項や優れた取組がなされている事項その他法人を取り巻く諸事情も考慮して行う。

（２）大項目別評価

１ 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

① 評価結果

S 特に評価すべき 進捗状況	A 順調に 進んでいる	B 概ね順調に 進んでいる	C やや 遅れている	D 大幅に 遅れている

14 項目のうち、「救急医療への対応」をはじめ全ての項目も年度計画を達成している。

年度評価実施要領に基づき、小項目評価より算出した当該大項目の評価点は「４．２１」であり、３．５以上４．５未満であることから「中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。」と判断した。

【小項目評価による評価点の算出】

中項目	小項目	配分％ (a)	法人	評価委員会	
			評価 (b)	評価 (c)	評価点 (d)
１公立病院としての役割の発揮と責務の遂行	（１） 救急医療への対応	5	4	4	20
	（２） 災害時における機能の強化	5	4	4	20
	（３） 感染症対策の強化	5	4	4	20
	（４） 地域の中核医療機関としての役割の発揮	5	5	5	25
	中項目　計	20	－	－	85 (4.25)
２高度・専門医療の提供	（１） がん医療の充実	5	4	4	20
	（２） 循環器疾患にかかる医療の充実	5	4	4	20
	（３） 消化器疾患にかかる医療の充実	5	4	4	20
	（４） 周産期医療の充実	5	4	4	20
	（５） 小児医療の充実	5	4	4	20
	（６） センター診療機能の更なる充実	5	4	4	20
	（７） 総合診療体制とチーム医療の充実	5	5	5	25
	（８） 高度・専門医療を提供する人材の確保と育成	5	5	5	25
	中項目　計	40	－	－	170 (4.25)

３安全で信頼される医療の提供	（１） 医療安全管理及び感染対策の徹底	5	4	4	20
	（２） 患者とともに進める医療の推進とサービスの充実	5	4	4	20
	中項目　計	10	－	－	40 (4.00)
合　計		70	－	－	295 (4.21)

※ 大項目評価の評価点の算出方法

〔 小項目評価(c) × 配分(a) 〕の合計÷配分(a)の合計

＝ ２９５ ÷ ７０

≒ ４．２１

② 特筆すべき小項目評価

１－（１） 救急医療への対応　　【評価：４】

・救急搬送件数の減少は、重症化前の受診促進など地域包括ケアの機能強化による成果と考えられる。加えて、ドクターカー運用により早期の下り搬送が可能となり、24 時間の救急受入体制が確保されている点について評価できる。
・救急搬送件数は昨年度より減少しているが各センターにおいて 24 時間 365 日の救急受入体制を維持した。ドクターカーによる早期の下り搬送を実現し地域全体での救急受入体制を整備した。
・救急車受入件数は減少しているが、ドクターカーによる運行件数は増えており、地域の二次救急医療機関としての役割を果たしている。
・数値目標は 90%以上達成され、定性的な取組目標も概ね達成されている。特に当該圏域での救急体制と二次救急医療体制の維持については評価できる。

１－（２） 災害時における機能の強化　　【評価：４】

・災害支援看護師の登録者数が増加し、地域災害拠点病院として体制強化が進んでいる点は評価できる。一方、災害医療派遣チーム訓練や研修受講者数が前年度より減少しており、支援看護師としての実践力維持・向上には毎年の継続的な研修が必要である。
・災害支援ナースへの登録看護師が昨年度より増加した。
・災害支援ナースの登録看護師が増え、訓練も充実しているようであるが、災害医療派遣チーム訓練の参加人数の減少及び研修の受講率の減少がみられる。
・定性的な取組目標をすべて達成されているうえ、特に優先度の高い DMAT の充実についても実績を積み重ねている点は評価できる。

１－（３） 感染症対策の強化　　【評価：４】

・昨年度と同様に、常時 18 床の受入可能病床を確保し、約３か月分の衛生材料を備蓄している点は評価できる。これにより、パンデミックや自然災害発生時にも安定した対応体制を継続していることが確認できる。
・地域の医療機関や高齢者施設との合同カンファレンスや新興感染症対策の訓練を実施した。
・新型コロナウイルス感染症の５類移行に伴い社会の意識の低下が見受けられるが、継続的な取組を評価する。
・活動指標は横ばいだが、定性的な取組目標も順調に達成しており、特に新興感染症対策への備えとして兵庫県との医療措置協定に基づく体制維持をできたことは評価できる。

１－（４）地域の中核医療機関としての役割の発揮　　【評価：５】

・地域の中核医療機関としての役割を着実に発揮しており、加古川市の地域包括ケアシステムも機能している。その結果、活動指標の達成率が概ね前年度を上回っている点を評価できる。
・急性期治療終了から速やかにかかりつけ医に逆紹介する方針を明確にし、紹介受診重点医療機関としての役割を果たした。
・人間ドックの受診者数の増加等、目標数値を達成しており、地域の中核医療機関としての役割を果たしていると考える。
・数値目標はすべて 100％を超える達成率で、定性的目標もすべて達成できていた。引き続き、地域医療機関との連携等の強化に努めていただきたい。

２－（１）がん医療の充実　　【評価：４】

・がん退院患者数、がん看護外来件数、がん相談件数、がん地域連携パス件数がいずれも昨年度より増加しており、緩和ケア科開設の成果が着実に表れている。これらの取組は、がん患者が地域で安心して生活を継続できる支援体制の構築に寄与している点で評価できる。
・国指定の地域がん診療連携拠点病院として高度かつ低侵襲な手術法など専門治療や患者ケアを推進した。
・がん登録件数等は減少し、悪性腫瘍手術件数も減少している一方、化学療法件数は増加しており、サロンを充実させる等、がん医療は充実しているものと考える。
・数値目標は 90％以上達成され半数以上が 100％を超えているうえ、定性的な取組目標も概ね達成している。今後は化学療法の待ち時間の短縮等に向け更にご尽力いただきたい。

２－（２）循環器疾患にかかる医療の充実　　【評価：４】

・PTA 件数は 58.3％と減少しているものの、その他の目標指標は昨年度を上回り、年度計画は達成されている。
・24 時間 365 日体制で急性期循環器症例の受入、緩和ケアの導入を行った。小児循環器内科による先天性心疾患の治療体制を確立した。
・PTA の件数は減少しているものの、心臓血管センター救急搬送受入件数の増加等、積極的な取組を評価する。
・数値目標は、1 項目 58.3％があるものの、平均すると全体では 90％を超えており、定性的目標も概ね達成されている。

２－（３）消化器疾患にかかる医療の充実　　【評価：４】

・出血を伴う消化管急性疾患に対する緊急内視鏡治療件数が増加し、さらに手術支援ロボット（ダヴィンチ）を用いた消化器がん手術件数も増加していることから、当該領域における目標は達成されている。
・急性期疾患に対する緊急内視鏡治療の対応、内視鏡分野での低侵襲治療を推進した。手術支援ロボットの適用でほぼ全ての消化器がん対応が整備されている。
・目標未達の項目もあるが、全体として数値は上昇しており、先進的な治療方法を推進したことを評価する。
・数値目標は、全て 90％達成されており、定性的目標も概ね達成されている。活動指標が順調に推移している点も評価できる。

２－（４）周産期医療の充実　　【評価：４】

・地域周産期母子医療センターの機能維持のためには産科医の安定的な確保が引き続き重要である。一方、BFH・BFNICU として母乳育児推進の取組が成果を上げており、退院時母乳率は昨年度をわずかに上回っている点を評価した。
・ハイリスク妊産婦、緊急性の高い母体、新生児救急症例を受入れ、三次救急の役割を担った。
・達成率は前年度に比べ減少しているが、無痛分娩の増加等、母子にやさしい医療が推進されている事を評価する。
・数値目標は一部 90%に届かないがほぼ 90%達成されており、定性的目標も概ね達成されている。産科医の確保という難題をこなしつつ無痛分娩体制整備も進めていただきたい。

２－（５）小児医療の充実　　【評価：４】

・多岐にわたる専門外来・入院治療の実践に加え、24 時間 365 日の救急受入体制を堅持する取組が進み、目標指標は 80%達成している点について評価できる。
・救急医療から高度専門治療まで総合的な小児医療を提供した。
・目標に届かない項目もあるが、専門性の高い医療の充実が窺える。
・数値目標が 80%、定性的目標の達成率が 5/7（約 70%）で所期の成果は概ね得たものと評価できる。中期計画との関係で、小児疾患の救急搬送受入態勢の整備を進めていただきたい。

２－（６）センター診療機能の更なる充実　　【評価：４】

・ホームページでは「あなたに寄り添うがん治療」へ容易にアクセスでき、がん相談支援センターの利用案内が適切に掲載されている点は評価できる。さらに、動画では受付から窓口までの流れを利用者目線で分かりやすく示しており、利用者支援の観点から有用である。
・６つのセンター機能を積極的にアピールしている。センター化の必要性を検討していただきたい。
・呼吸器センターを有効活用し、高度な医療の提供及び人材育成を期待する。
・センター機能の地域へのアピールは順調であり、既存センターの連携や機能強化に加えて、引き続きセンター化の必要性等の検討を進めていただきたい。

２－（７）総合診療体制とチーム医療の充実　　【評価：５】

・目標指標が概ね 100%前後の達成率を示しており、十分に目標を達成している。
・高度専門医療を提供する病院として、質の高いチーム医療を確保している。
・目標未達の指標もあるが、全体としては目標を上回っており、活動指標も前年を上回っている項目が多い。
・数値目標はほぼ 100%達成され、定性的目標もすべて達成している。総合診療体制の整備、高度専門医療の提供、チーム医療の推進についても、所期の目的を上回る成果であると評価する。

２－（８）高度・専門医療を提供する人材の確保と育成　　【評価：５】

・目標指標が概ね 100%前後の達成率を示しており、十分に年度計画を達成している。
・初期研修医マッチングは、一般 12 名、産婦人科育成２名、小児科育成１名のフルマッチとなった。１位希望人数は、兵庫県４位、市中病院全国 41 位の 28 人であった。
・目標指標、活動指標ともに前年を上回っているものが多く専門分野での人材確保と育成の点で十分な結果を残している。
・数値目標はほぼ 100%達成され、定性的目標もすべて達成されている。研修医人気はもちろん、中堅ベテランの医師が定着して人員の確保ができている現状は素晴らしい。

３－（１）医療安全管理及び感染対策の徹底　　【評価：４】

・インシデント報告件数が少ない診療部にリスクマネージャーを配置したことで、報告件数が昨年度を上回った点は評価できる。これは、当該部署の医療安全に対する認識向上に寄与した結果と考えられる。
・発生が多いインシデントに関するレポートの分析を行い、再発防止についての評価を実施した。
・インシデントを分析することにより、安全管理の意識が高まるため、安全管理対策に注力していることを評価する。
・定性的な取組目標をすべて達成している。インシデント件数の増加は注意が必要だが、他の活動指標はいずれも良好に推移しており評価できる。

３－（２）患者とともに進める医療の推進とサービスの充実　　【評価：４】

・入院・外来患者満足度の目標指標達成率は 100%を超えており高い成果が示されている。一方で、活動指標において感謝や接遇・応対の満足度が昨年度より低下し、苦情の割合が増加している。
・ご意見箱や患者満足度調査によりニーズを把握し、アンケートを実施し調査と相違ないかを検証している。
・患者満足度は目標を達成しており、他のサービスも概ね好評である。
・定性的な取組目標をすべて達成されている。オンライン資格確認、電子処方箋の導入、料金後払いシステム等の努力は評価する。引き続き待ち時間問題に取り組んでいただきたい。

２ 業務運営の改善及び効率化に関する事項

① 評価結果

S 特に評価すべき 進捗状況	A 順調に 進んでいる	B 概ね順調に 進んでいる	C やや 遅れている	D 大幅に 遅れている

４項目のうち、「効率的・効果的な組織運営」をはじめ全ての項目で年度計画を達成している。

年度評価実施要領に基づき小項目評価より算出した当該大項目の評価点は「４．００」であり、３．５以上４．５未満であることから「中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。」と判断した。

【小項目評価による評価点の算出】

中項目	小項目	配分％ (a)	法人	評価委員会	
			評価 (b)	評価 (c)	評価点 (d)
１自律性・機動性・透明性の高い組織運営	（１） 効率的･効果的な組織運営	4	4	4	16
	（２） コンプライアンスの徹底	4	4	4	16
	中項目　計	8	－	－	32 (4.00)
２働きやすく､やりがいのある職場づくり	（１） やりがいづくり、モチベーションアップへの取組の充実	5	4	4	20
	（２） 働き方改革の推進	5	4	4	20
	中項目　計	10	－	－	40 (4.00)
合　計		18	－	－	72 (4.00)

※ 大項目評価の評価点の算出方法

〔 小項目評価(c) × 配分(a) 〕の合計÷配分(a)の合計

＝ ７２ ÷ １８

＝ ４．００

② 特筆すべき小項目評価

１－（１）効率的・効果的な組織運営　【評価：４】

・機構ニュースレターの発行回数は昨年度の４回から３回へ減少したものの、広報誌の発行やホームページの活用により、病院の取組を地域住民へ効果的に発信できている。特にホームページの満足度が昨年度より上昇している点から、情報発信に関する年度計画は達成していると評価した。
・ICT や AI などのデジタル技術を駆使して更なる業務効率化を目指す。
・機構ニュースレターの発行回数は減少しているが、ホームページの満足度は上昇しており、地域住民に組織運営の情報を提供している。また、電子カルテ更新により効率的な運営が実現されている。
・定性的な取組目標は全て達成しており評価できる。定性的目標中、AI の活用については、更に進化させる余地があると思われるため引き続き努力を継続いただきたい。

１－（２）コンプライアンスの徹底　【評価：４】

・パワハラに関する意識調査や標的型メールへの模擬訓練を実施し、職員の情報管理に対する認識状況を的確に把握できている。これらの取組によりコンプライアンスの徹底が図られ、当該年度の年度計画は達成していると評価した。
・ハラスメント防止対策について全職員対象の研修を実施した。コンプライアンス推進委員に対するパワハラ防止研修の参加人数が増加した。
・情報開示件数、コンプライアンス研修参加者数ともに前年より増加しており、病院全体での意識の高さが窺える。
・定性的な取組目標は全て達成されており評価できる。もっとも、サイバーテロ対策については、引き続き具体的な対策強化を急いでいただきたい。

２－（１）やりがいづくり、モチベーションアップへの取組の充実　【評価：４】

・システミックコーチングを継続して実施したことで、職員のやりがいやモチベーションが向上し、職員満足度は昨年を上回る結果となっている。この取組は、組織の活性化と職員の成長支援に寄与している点で評価できる。
・職員満足度、仕事にやりがいや誇りを感じる割合も上昇し、高い水準を維持している。
・職員満足度が上昇しており、活動指標の数値もほぼ前年度を上回っており、職員の意識の高さが窺える。
・数値目標は 100％を超え、定性的取組目標も全て達成している。所期の目的は十分に達成できていると考えるため、引き続き働きやすくやりがいのある職場づくりを努めていただきたい。

２－（２）働き方改革の推進　【評価：４】

・タスクシフトや労働時間区分のモニタリングを通じて業務負担の軽減と時間外勤務の削減に取り組んだ点は評価できる。しかし、長時間勤務の実績が昨年度より増加し、臨床心理士への相談件数が増えている点で、職員のメンタルヘルスへの影響が懸念される。
・タスクシフトの円滑な導入を推進した。
・長時間勤務実績は増加しているものの、年間休日日数の増加、変形労働適用率も上昇しており、働き方改革は進んでいるものと認められる。
・定性的目標はすべて達成できており、活動指標も概ね順調に推移している。タスクシフトの取組は引き続き進めていただきたい。

３ 財務内容の改善に関する事項

① 評価結果

S 特に評価すべき 進捗状況	A 順調に 進んでいる	B 概ね順調に 進んでいる	C やや 遅れている	D 大幅に 遅れている

「経営基盤の強化」及び「収入の確保及び費用の最適化」の全ての項目で年度計画を達成している。

年度評価実施要領に基づき小項目評価より算出した当該大項目の評価点は「４．５０」であり、４．５以上であることから「中期目標・中期計画の達成に向けて、計画を大幅に上回り、特に評価すべき進捗状況にある。」と判断した。

【小項目評価による評価点の算出】

中項目	小項目	配分％ (a)	法人	評価委員会	
			評価 (b)	評価 (c)	評価点 (d)
１経営基盤の強化	※　小項目なし	5	5	5	25
	中項目　計	5	－	－	25 (5.00)
２収入の確保及び費用の最適化	※　小項目なし	5	4	4	20
	中項目　計	5	－	－	20 (4.00)
合　計		10	－	－	45 (4.50)

※ 大項目評価の評価点の算出方法

〔 小項目評価(c) × 配分(a) 〕の合計÷配分(a)の合計

＝ ４５ ÷ １０

＝ ４．５０

② 特筆すべき小項目評価

１ 経営基盤の強化　　【評価：５】

・目標指標が 100%以上の達成率を示しており、十分に年度計画を達成している。
・理事会・執行部会議等で経営状況を共有し、経営課題の共通認識を図り、経常黒字を確保した。
・目標数値をすべて達成しており、経営基盤はより強固となっていると考える。
・数値目標は全て達成され、定性的目標についても全て達成できている。医療を取り巻く環境が悪化している背景を踏まえると、この結果は特筆すべき成果と評価してよい。

２ 収入の確保及び費用の最適化　　【評価：４】

・目標指標が概ね 100%前後の達成率を示しており、年度計画を達成している。
・急性期病院に望まれる体制や実績を維持し、急性期充実体制加算の算定を維持している。物価高騰による費用増加を見極め、コスト削減を図った。
・目標数値には達しないものの、90%を超えており、努力が窺える。材料費、医薬品費の値上がりが今後も続くと思われるため、収入を増加させながら費用の削減にも注力していただきたい。
・定性的目標は概ね達成されている。医薬品費比率の上昇は、社会情勢を踏まえればやむを得ない側面もあるが、引き続きコスト削減に向けて努力を進めていただきたい。

４ その他業務運営に関する重要事項

① 評価結果

S 特に評価すべき 進捗状況	A 順調に 進んでいる	B 概ね順調に 進んでいる	C やや 遅れている	D 大幅に 遅れている

「地域社会との協働の推進」の項目について、年度計画を達成している。

年度評価実施要領に基づき小項目評価より算出した当該大項目の評価点は「４．００」であり、３．５以上４．５未満であることから「中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。」と判断した。

【小項目評価による評価点の算出】

中項目	小項目	配分％ (a)	法人	評価委員会	
			評価 (b)	評価 (c)	評価点 (d)
１地域社会への貢献	（１） 地域社会との協働の推進	2	4	4	8
	中項目　計	2	－	－	8 (4.00)
合　計		2	－	－	8 (4.00)

※ 大項目評価の評価点の算出方法

〔 小項目評価(c) × 配分(a) 〕の合計÷配分(a)の合計

＝ ８ ÷ ２

＝ ４．００

② 特筆すべき小項目評価

１－（１） 地域社会との協働の推進　　【評価：４】

・地域住民との交流事業に積極的に参加し、住民とのコミュニケーションを深めた点は評価できる。これらの取組は、地域に開かれた病院づくりの推進に寄与し、住民からの信頼向上にもつながっている。
・病院ボランティアを育成し、健康増進の視点でまちづくりに貢献した。
・ボランティアの時間数が減少しているのが気になるが、多くのイベントに参加し、救護班の派遣等地域社会との協働を進めていただきたい。
・概ね目標を達成できていると評価する。引き続き、未達の課題やボランティア登録者数の増加・実働時間の増加に向けて尽力いただきたい。

４ その他業務運営に関する重要事項〈加点項目〉

① 評価結果

加点　12 点

「市施策への協力」の項目について、年度計画を達成している。

【小項目評価による加点の算出】

中項目	小項目	加点比率(a)	法人	評価委員会	
			評価(b)	評価(c)	加点(d)
１地域社会への貢献	（２） 市施策への協力	3	4	4	12

② 特筆すべき小項目評価

１－（２） 市施策への協力　　【評価：４】

・加古川市のイベントに救護班として医師・看護師を派遣し、トライやる・ウィークの体験受入や救急フェアへの参加など、市の施策に積極的に協力した点では年度計画を達成している。
・加古川市の総合計画に沿って継続的に実施される施策に協力した。
・加古川市主催のイベントに救護班の派遣をする等、地域社会との協働を進めていただきたい。
・加古川市の施策に積極的に協力できていると評価できる。